

## 経済諸会議の動向（４）

田中 修

### はじめに

12月23-24日、中央農村工作会議が北京で開催され、「三農（農業・農村・農民）」政策が直面する情勢・任務を全面的に分析し、農村改革の全面深化、農業現代化の歩みの加速という重要政策が検討され、2014年及び今後一時期の農業・農村政策が手配された。

会議は政治局常務委員全員が出席し、習近平総書記が重要講話を行い、わが国経済社会の長期的な発展という大局から出発して、農村の改革・発展に関する方向性・戦略性を有する若干の重大問題を、戦略的に有利な位置づけから、深く徹底的に説明し、同時に明確な要求を提起した。

李克強総理は講話において、農業・農村政策の情勢を深く分析し、かつ改革・イノベーションにより農業現代化を推進し、政府の「三農」政策の職責を更に好く履行する等の重点任务について、具体的な手配を行った。

会議は「農村改革の全面深化と農業現代化加速に関する党中央・国務院の若干意見」を討議し、24日午後に汪洋副総理が総括講話を行った。

本稿では、会議の概要を紹介する（新華網北京電2013年12月24日）。

### 1. 基本的考え方

今回の中央農村工作会議は、党18期3中全会後、中央が開催した重要会議である。新世紀に入って以来、中央が打ち出した「三農」政策は、行えば効果があり、民心を深く得て、農民の積極性を有効に動員し、農業・農村の発展を有力に推進してきた。

わが国の改革は農村から立ち上がった<sup>1</sup>のであり、農村の改革・発展という偉大な実践は、①人民の生活が基本的な衣食に不足する状況から全体として小康（いくらかゆとりのある）状況への歴史的な飛躍、社会主義現代化の推進を実現するために、重大な貢献を行い、②各種の困難・リスクに打ち勝ち、社会の大局の安定を維持するために、堅実な基礎を打ち固めた。

いくらかゆとりがあるか・ないかのカギは、故郷を眺めてみることである。農業はなおも「工業化・都市化・情報化・農業現代化を同歩調で進める」うえで落后した部分であり、農村はなおも小康社会を全面的実現するうえで落后した部分である。

中国が強くなるには、農業が強くなければならない。中国が美しくなるには、農村が美しくなければならない。中国が豊かになるには、農民が豊かにならなければならない。農業の基礎が堅固で、農村が調和のとれ安定し、農民が安心して生活し楽しく働いてこそ、

---

1 ゴチックは筆者。

全大局は保障され、各政策は比較的に主動性をもつことになるのである。

我々は、「三農」問題をしっかり解決することを全党活動の重点中の重点とすることを堅持し、工業が逆に農業を養い、都市が農村を支援し、多く与え少なく取り活性化させるという方針を堅持し、「強農・恵農・富農」<sup>2</sup>政策を不断に強化して、常に「三農」政策にしっかり取り組まなければならない。

## 2. わが国の食糧安全の確保

わが国は人口が多い大国であり、食の問題をしっかりと解決することは、常に国家ガバナンスにおいて最も重要な大事である。自国を主体とし、国内に立脚し、生産能力を確保して、適度に輸入し、科学技術が支える国家食糧安全戦略を堅持しなければならない<sup>3</sup>。

中国人の飯碗はいかなる時でも自分の手にしっかりと握っていなければならない。我々の飯碗には主として中国の穀物を盛らなければならず、1国は食糧の基本的自給に立脚してこそ、食糧安全の主動権を掌握することができ、さらに進んで経済社会の発展という大局を掌握することができるのである。

食糧安全という政策の重点を更に明確にし、資源を合理的に配分し、パワーを集中してまず最も基本的で最も重要な点を確保し、穀物の基本的自給と、自分たちが必要な分の食糧の絶対安全を確保しなければならない<sup>4</sup>。耕地の警戒ラインを厳格に防止・死守し、18億ムー（1億2千万 ha）耕地警戒ラインを依然固守しなければならない、同時に現有の耕地面積の基本的安定を維持しなければならない。

「2つの積極性」をしっかりと動員・保護し、農民に作付けで利益を得させ、食糧主要生産地域に食糧への取り組みの積極性をもたせなければならない。農業補助が食糧生産にリンクしたメカニズムの形成を模索して、多くの食糧生産者が多くの補助を得られるようにし、有限な資金を真に肝心なところに用いなければならない。食糧備蓄をしっかりと調節し、市場主体の食糧備蓄への積極性を動員し、社会（民間）の倉庫施設を有効に利用して食糧備蓄を進める。

中央と地方は共同で責任を負い、中央が第一の重要な責任を引き受け、各レベル地方政府は大局意識を樹立し、食糧生産への投入を増やし、国家食糧安全を擁護する責任を自覚的に引き受けなければならない。

---

<sup>2</sup> 農業を強化し、農村に恵みを与え、農民を富ませる（人民日報社説 2013年12月24日）。

<sup>3</sup> 2011年に中国は小麦・コメ・トウモロコシ等の農産品純輸入国となり、2011年の小麦・トウモロコシ・コメ等の穀物輸入は545万トン、2012年は1398万トンに達している。社会科学院農村発展研究所の李国祥研究員は、「このことは、食糧増産の伸びが消費の硬直的な伸び率を完全には満足できていないことを示すものである」と指摘している（人民日報 2013年12月25日）。

<sup>4</sup> 国務院発展研究センター農村研究部の徐小青研究員は、「穀物の基本的自給とは、小麦・トウモロコシ・コメを主とした3大穀物の自給率を95%以上に維持しなければならないことを意味し、自ら必要な分の食糧の絶対安全とは、小麦・コメの自給率を98%以上にしなければならないことを意味する」と解説している（人民日報 2013年12月25日）。

2つの市場・2つの資源をうまく用い、輸入を適切に増やし、農業の海外進出の歩みを加速し、輸入の規模・テンポをしっかりと把握しなければならない。食糧節約を高度に重視し、食糧節約に子供の頃から取り組み、食卓から取り組むことにより、食糧節約を全社会に広げて1つの風潮にしなければならない。

### 3. 農村基本経営制度の堅持・改善

党の農村政策を堅持する際、第一に重要なことは農村基本経営制度を堅持することである。農村の土地の農民集団所有を堅持することは、農村基本経営制度の「魂」を堅持することである。

家庭経営の基礎的地位を堅持し<sup>5</sup>、農村の集団化した土地は集団経済組織の構成員としての農民家庭に請け負わせ、その他いかなる主体も農民家庭の土地請負の地位に取って換わってはならない。請負経営権をいかに流通させるとしても、集体としての土地請負権は全て農民家庭に属する。

土地請負関係の安定を堅持し、法に基づき農民の請負地について占有・使用・収益・流通及び請負権の抵当化・担保権を保障する。土地請負経営権主体と経営権主体との分離が発生することは、わが国の農業生産関係の変化の新たな趨勢であり、農村基本経営制度の整備に対して新たな要求を提起するものである。農村土地集団所有制度の有効な実現形式を不断に模索し、集団所有権を実施し、農家の請負権を安定化し、土地経営権を活性化して、農家の家庭経営を基礎とし、協同と連合を紐帯として、社会化されたサービスを支えとする立体的・複合型の現代農業経営システムの構築を加速しなければならない。

土地経営権の流通・集中・規模の経営は、①都市化プロセスと農村労働力の移転規模と適応させなければならず、②農業科学技術の進歩と生産手段の改善程度に適応させなければならず、③農業の社会化されたサービス水準の向上と適応させなければならない。土地経営権の流通管理とサービスを強化し、土地経営権等の農村財産権の流通取引の公開・公正・規範的な運営を推進しなければならない。

### 4. 農産品の質と食品安全

食品安全において庶民に満足のいく説明ができるかどうかは、我々の執政能力に対する重大な試練である。

食品安全の根源は農産品にあり、基礎は農業にある。抜本的な対策を講じ、まずは農産品の質にしっかり取り組まなければならない。農産品の質の安全を農業発展方式の転換・現代農業建設の加速のカギとなる部分とし、最も厳密な基準・最も厳格な監督管理・最も

---

<sup>5</sup> 2012年末、全国農村で集団耕地を請け負っている農民家庭は約2.3億戸であり、そのうち約4440万戸が耕地の流動化を進め、なお1.9億戸が農業に従事している。中国社会科学院農村発展研究所の李国祥研究員は、「このことは、農家家庭がなおわが国の農業における最も主要な生産経営主体であり、現在及び今後一時期、なお一般農家が大量に存在することを示している」と指摘している（人民日報2013年12月25日）。

厳格な処罰・最も厳粛な問責制を用いて、広範な人民大衆の「舌の上の安全」を確保しなければならない。

食品の安全は、まず「生産」に由来する。生産環境の安全をしっかりと把握し、土壌・水質対策を進め、農産物の生産地環境を浄化し、農地に汚染物質が進入する連鎖を断ち切らなければならない。汚染が深刻な耕地・水等に対しては、食用農産物生産禁止区域を画定し、集中的に修復、肥料・農薬・添加剤のコントロールを進め、農業への投入物の乱用・濫用を厳格に規制しなければならない。

食品の安全は、「管理」に由来する。田畑から食卓までの全プロセスをカバーする監督管理制度を形成し、更に厳格な食品安全監督管理責任制・責任追及制度を確立することにより、権限と責任を緊密にリンクさせ、農産物の質と食品の安全を遡って追及する健全なシステムを早急に確立し、農産物・食品の安全情報を遡って追及する全国統一のプラットフォームをできるだけ速く確立しなければならない。食品安全犯罪を厳格に取り締まり、効き目の強烈な薬（対策）を飲ませ、対策を次々と打ち出し、決して大目に見てはならず、大衆の監督・世論の監督の重要な役割を十分発揮させなければならない。食品ブランドを大いに育成し、ブランドにより人々に製品の質に対する信用を保証しなければならない。

## 5. 誰が土地を耕すか

この問題をうまく解決することは、わが国の農業・農村の発展と経済社会全体の発展に対して、深遠な影響を及ぼすものである。

核心は人の問題をうまく解決することであり、農民を富裕にし・向上させ・支援することを通じて、農業経営を収益性のあるものにし、農業を希望のある産業にし、農民を面目の保てる職業とし、農村を安心して生活し楽しく働くことができる美しい故郷としなければならない。

農地耕作の集約化経営・規模化経営・社会化したサービスの水準を高め、農民の農業従事による所得を増やし、家庭農場・専業大農家・農民合作社・産業化先導企業等の新たなタイプの主体の発展を奨励し大いに支援しなければならない<sup>6</sup>。

農民の素質を高め、新しいタイプの農民の陣容を育成し、青年農民の育成を国家実用人材育成計画に組み入れ、農業の後継者を確保しなければならない。

農業に対する政府の支援・保護を強化し、農業従事のための良好な条件・環境を作り上げ、農業への投入を強化し、農業・農村の特徴に適合した金融システムを確立し、大学、中等・専門学校とりわけ農業大学卒業生が農村に赴き農業を經營するための政策措置を制定しなければならない。

新しいタイプの農業経営主体の育成加速を重大戦略とし、若者を引き寄せて農業に従事させ、職業（プロフェッショナルな）農民を育成することを重点とし、専門的な政策メカ

---

<sup>6</sup> 現在、全国の耕作大農家は68.2万戸で、全農家の0.28%を占める。家庭農場は87.7万箇所、全国請負耕地面積の13.4%を占める（人民日報2013年12月25日）。

ニズムを確立し、職業農民の陣容を構築して、農業の現代化と農業の持続可能で健全な発展のために堅実な人材の基礎・保障を提供しなければならない。これと同時に、一般農家の生産発展をも引き続き重視しなければならない。

## 6. 農村社会管理の強化

農村民生の保障・改善を優先的な方向とし、系統的で・法に基づき・総合的・根本的なガバナンスという理念を樹立し、広範な農民が安心して生活し楽しく働くことができ、農村社会が安定して秩序立っていることを確保しなければならない。

農村はわが国の伝統文明の発祥の地であり、郷土文化の根を断つことはできず、農村を荒廃した農村・留守の農村・記憶の中の故郷にしてはならない。

農村の「3留守問題」を重視し、農村民生の保障・改善をしっかり行い、農村留守児童・留守女性<sup>7</sup>・留守老人の面倒をみる健全なサービス体系を整備し、貧困扶助開発をたゆむことなく推進することを堅持し、精確な貧困扶助を実行しなければならない。

農村空洞化問題を重視し、農村居住環境対策を推進し、社会主義新農村建設を引き続き推進し、農民のために幸福な故郷・美しい郷村を建設しなければならない。

農村社会の矛盾解消を重視し、農村社会が安定し秩序立っていることを確保し、農民の各方面の利益請求をタイムリーに反映・協調させ、政府と大衆の利益関係をうまく処理し、根源から社会の矛盾を予防・減少させなければならない。

農村末端の党組織建設を重視し、郷村ガバナンスのメカニズム整備を加速し、農村における党組織・党活動のカバー率を拡大し、青年党員の育成を強化し、末端党組織が大衆に奉仕するという意識を高め、農村における党の執政の基礎を打ち固めなければならない。農村末端幹部の選任制度を整備し、農村の末端民主を拡大し、農民の民主的権利の直接行使を保証しなければならない。

## 7. 結び

農業の現代化推進を加速するに際しては、国家食糧安全保障と農民の増収促進を核心とし、わが国の基本国情・農業事情に立脚し、現代化のルールを遵守して、科学技術の支えとイノベーションによる駆動に依拠して、土地の生産性・資源の利用率・労働生産性を高め、生産技術が先進的で、経済規模が適度な、市場競争力が強く、生態環境が持続可能な、中国の特色ある新たなタイプの農業現代化の道を歩むよう努力しなければならない。

政府機能の転換を加速し、農業に関する行政管理方式の刷新を積極的に推進する。

①政府と市場の関係をうまく処理し、農民の手足を束縛する一切の不合理な制限・差別を引き続き打破し、農業・農村発展の内生的動力を増強する。

②政府と農民の関係をうまく処理し、農民の權益を確実に擁護し、現地の事情に応じて方

---

<sup>7</sup> 人民大学農業・農村発展学院の鄭風田副院長によれば、現在の農村の高齢女性が耕作の主力となっており、平均年齢は50歳以上である（新華網北京電2013年12月24日）。

法を選択し、テストを先行させることを堅持し、**農民・末端のパイオニア精神を尊重**する。

③**中央と地方の関係をうまく処理**し、中央は方向を把握し、大局を管理し、重点に取り組み、地方は中央の「三農」に関する政策決定・手配に基づき農業・農村の発展の実際問題をしっかり解決する。

都市化を積極かつ穏当・着実に推進し、2020年までに①約1億人口の都市に入り常住している農業からの移転人口の都市戸籍への移転、②約1億人口の都市バラック地区と都市の中にある村の改造、③約1億人口の中西部地域における都市化、を解決しなければならない。新しいタイプの都市化推進は農業現代化と相互補完的でなければならず、特色を際立たせて新農村建設を推進し、広範な農民大衆が更に好い日々を過ごせるよう努力しなければならない。

**農村政策を党が管理するのが我々の伝統である。**各レベル党委員会は「三農」政策への指導を強化し、各レベルの指導幹部はいずれも「三農」政策を重視し、多くが農村に出むき、多くが農家を見て、農民の請求・期待を真に理解し、農民が生産生活における実際問題を解決することを誠心誠意支援しなければならない。各レベルの指導幹部とりわけ農業を主要産業としている市・県・郷・鎮幹部は、農業を熟知し、農業を理解し、農作物の種類・品質、節気<sup>8</sup>、農業科学技術等の方面の基本知識を理解しなければならない。

全党・全国各民族・人民は習近平同志を総書記とする党中央周囲に緊密に団結し、心を一つにして、政策を着実に実施し、改革・イノベーションを行い、困難を克服し、この会議の各手配を真剣に実施し、農業・農村政策の斬新な局面を切り開くよう努力しなければならない。

(1月6日記)

---

<sup>8</sup> 季節を正しく示すための暦上の点。1年に24の節気が設けられている。